

## 韓国生保業界最大手 サムスン生命が日本の保険流通に大注目!

ほけんの窓口グループ会長 窪田泰彦に講演依頼

「ほけんの窓口」「みんなの保険プラザ」「ほけんの専門店」の来店型保険ショップを全国340店舗以上展開するほけんの窓口グループ株式会社(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：今野則夫)の取締役会長を勤める窪田泰彦(元あいおい生命保険株式会社代表取締役社長)は、去る11月23日(金)24日(土)の両日にわたり、韓国のサムスン生命本社内の研修会において講師として招待され、「ほけんの窓口グループの成長の足取りと今後の展開」というテーマで講演いたしました。

### 講演・幹部会談・各部署との実務ベースのミーティングなど精力的に活動

韓国の生保業界最大手であるサムスン生命本社に招かれた窪田は、サムスン生命代表取締役社長の朴根熙(Park, Keun-Hee)氏との1時間半の会談の後、全幹部社員・役員を対象とした講演で、当社のビジネスモデルの紹介・これまでの成長の歩み・今後の展望を約2時間にわたり講演しました。またその後、サムスン生命本社の各部署との個別ミーティングを行い実務ベースでの指導・意見交換を行いました。講演・個別ミーティング、ともに同社員の熱心な質疑応答に終始し、当社のビジネスモデルの注目度の高さがうかがえた2日間となりました。



全幹部社員・役員を前に講演を行う窪田(写真左側・奥)

### 海を越えて保険会社と保険代理店が関係構築。「お客様を第一に」を共通認識に変革期の足掛かりを探る

韓国社会にいたっても日本国内と同じような社会構造の変化や金融情勢等により様々な経営課題を抱えており、生保業界を取り巻く環境も厳しさを増しています。サムスン生命というメーカー、ほけんの窓口グループという保険流通を担う保険代理店業と、立場は違えど、この変革期に成長を続ける当社のビジネスモデルやその戦略から「顧客創造と需要喚起」の足掛かりを見出したいと考えたサムスン生命 朴社長の強い要請により今回の交流が実現いたしました。「お客様を第一に考える」という点を共通認識・目標として実務ベースで意見交換することが、今後両社の持続的成長を実現していくための大きな糧となりました。当社は今後も国内外を問わず、多くの交流や関係構築を促進していくことで保険業界の発展に寄与して参ります。

<b>ほけんの窓口グループ株式会社 概要</b>		http://www.hokennomadoguchi.com/
代表者	： 今野 則夫	所在地
設立	： 平成7年4月	： 東京都渋谷区渋谷 2-21-1 渋谷ヒカリエ 18F
資本金	： 6億7,450万円	主な事業内容
グループ会社	： 株式会社ライフプラザパートナーズ(外商部門) 32拠点	： 乗合保険代理業
店舗数	： 343店舗【ほけんの窓口：213 みんなの保険プラザ：96 ほけんの専門店：34】(2012年12月5日現在)	グループ人員
		： 3,642名 (2012年12月1日現在)

<本件に関するお問い合わせ先> ほけんの窓口グループ株式会社 広告宣伝部 広報

写真・資料等がご入用の場合もお問い合わせ下さい

Tel : 03-5464-2450 Email : [PR@lifeplaza.co.jp](mailto:PR@lifeplaza.co.jp) URL : <http://www.hokennomadoguchi.com/>